

サンサン

グリーン情報

2016
vol.41



山口県西部森林組合

第20回 通常総代会

第20回通常総代会を、平成28年8月26日午前10時より下関市豊田生涯学習センター2階ホールにて、下関農林事務所田上愛仁所長様をはじめ多数の皆様を来賓にお迎えし開催いたしました。

総代出席者は当日現在の総代数が197名に対し、本人出席140名、書面議決書提出者44名、委任状出席者1名で合計185名の出席があり、本総代会は過半数以上の出席で成立しました。

議長には下関市下関地区の倉光満生総代を指名のうえ、議案を協議しました。

議案第1号から議案第9号、付帯決議まで挙手多数により可決決定しました。

また、議案第11号役員の任期満了に伴う次期役員の選任については、信任投票が行われ、投票総数136票に対して賛成票130票、反対票2票、白票3票、無効票1票により可決決定され、議案の全ての審議を終え12時に閉会しました。

事業報告

平成28年熊本地震においては、熊本県・大分県をはじめ九州各地において甚大な被害が発生し、亡くなられた方々へのご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に對しても、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興を願うものです。

5月26・27日に開催された伊勢志摩サミットは、世界経済の新たな危機回避に向けて政策を総動員する原則阻止策を柱とする首脳宣言と、テロや難民対策など6つの付属文書を採択して閉幕しました。このサミットの討議の中で安倍総理は世界経済への危機感を訴え、来年4

月に予定されていた消費税10%の延長を表明されました。くしくも6月23日に行われたイギリスの国民投票によりEU(欧州連合)からの離脱という予想外の事態に、直後からの金融市場はパニックに陥り、日本経済においてもアベノミクスによる「円安株高」から急激に「円高株安」へと市場は大きく流れを変え企業業績への悪影響が懸念されています。これを受けて政府では金融市場の安定化や国際関係の混乱回避に向けてG7をはじめ関係国と緊密に連携すると共に、安倍総理は秋の臨時国会で大型の第2次補正予算案を成立させて景気の下支えと成長を図る旨を発言され、林業



田上愛仁下関農林事務所長

関連にも補正予算が成立することを大いに期待するものです。

昨年度、地方創生を旗印に内閣に「まち・ひと・しごと創生本部」が新設され、林業の成長産業化を図ることが明文化されました。この中で①都市部等における建築物の木造化・木質化を推進するために国産材CLT(ひき板を繊維方向が直交するように積層接着した集成材)の開発普及②公共建築物等の木質化③木質バイオマス発電施設の整備等が掲げられました。こうした中、平成27年9月公表された「平成26年木材需給表」において、木材自給率は31.2%となり、実に26年ぶりに木材自給率が30%台に回復しました。近年、人工林の資源の充実、合板原料としてのスギ等の国産材利用の増加等を背景に国内生産量は



倉光満生議長

増加傾向にあり、一方で木材輸入量は減少傾向のため、木材自給率は上昇傾向にあります。当組合としても、国の「森林・林業再生プラン」に即した「国産材の利用拡大と・森林林業再生運動」が全国の森林組合系統運動として展開されており、高性能林業機械等の導入による効率的・効果的な搬出間伐等を実施し、施業集約化の取組により低コスト林業を目指しているところであります。

今年度における施業集約化事業の取り組みにつきましては、3団地を取り組み1,370㎡の搬出材積の実績をあげることができました。決算状況につきましては、昨年度を下回る結果となりましたが、年度目標を上回る8億1千万円の収益を上げ黒字決算にすることができました。厳しい社会情勢の中、また補助金が年々削減されていく中で組合員の皆様方をはじめ、県、市、県森連、関係各位のご指導、ご支援、ご協力によりましてこのような数字を計上でき深く感謝申し上げます。

第20回 通常総代会組合長あいさつ



義満謙二代表理事組合長

総代会の開催にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

日本列島は異常気象によるものか、各地でゲリラ豪雨・土砂災害が発生し、大きな被害が出ております。また、40度近い異常な暑さや35度以上の猛暑日が各地で報道されておりますし、熱中症の危険が特に高く、厳しい残暑が続いております。

本日は通常総代会のご案内を申し上げます。総代の皆様には、ご多忙にもかかわらず、多くの方々のご出席を賜りありがとうございます。

また、山口県下関農林事務所長田上愛仁様を初め、多くのご来賓の方々には、公私共にご多忙の中ご臨席を賜り、総代会が開催されますこと、衷心より厚くお礼申し上げますと共に、組合の運営並びに地域林業の振興発展につきまして、格別のご指導・ご支援を賜り重ねて感謝を申し上げます。

さて、日本経済は雇用情勢の改善等により、緩やかに回復しておりますが、英国のEU離脱、また新興国経済の減速等により、世界経済が不透明の中、安倍政権は成長戦略の最大の柱は地方創生とし、ローカルアベノミクスを掲げ、「まち・ひと・しごと」創生本部が稼働し、一億総活躍プランが打ち出されており、地方経済がさらに活性化すると期待しているところでございます。

皆様もご承知の通り、森林・林業・木材産業を取り巻く環境は極めて厳しく、木材需要並びに木材価格の低迷により、採算性が悪化しております。経営意欲の減退・森林所有者の山離れによる管理放棄・林業労働力の減少・人工林の伐採跡地の放置による山地災害等、様々な問題を抱えています。

このような状況の中、国は「森林・林業再生プラン」を打ち上げ、木材自給率を50%に引き上げる目標を立て、国産材の利用拡大を図ると共に、新たに森林・林業基本計画を見直し、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化等がもたらす地方創生を目指している所であります。

戦後造成されました人工林が、利用期を迎える中で、豊富な森林資源を循環利用することが重要であり、木材の利用拡大並びに、間伐はもとより皆伐・再造林を行う循環型の林業を転回する

ことで、森林の若返りを図り、地球温暖化防止や森林の有する国土保全、山地災害防止、水源涵養並びに多面的機能の発揮やその他・地域経済の活性化に貢献し、美しい伝統ある農山村を次世代に継承していかなければなりません。その政策として、新たな木材製品の技術開発や普及啓発に向けた環境整備、また、公共建築物の木造化等新たな木材需要の創出、CLT(直行集成板)の普及や木質バイオマスの利用促進等への活用など、森林資源の利用拡大を図ると共に、低コストで効率的な木材の生産供給システムを構築するため、施業の集約化や林内の路網整備、高性能林業機械の活用など、林業の高い生産性と収益性の向上を図り、需要に応じた、林業・木材産業の成長産業化を実現すると共に、農山村地域に産業と雇用を生み出すことで、地域創生に貢献することが重要な課題であります。

また、人工林の若齢林が著しく少ない、いびつな年齢構造を改め、平準化を図り、健全な森林の育成のためにも、間伐等の実施だけでなく、本格的な収穫行為である皆伐を行い、適格な再造林を図っていかなければ、拡大する様々な需要に応えられない時代が到来することになります。

川上と川下が連携して、「伐って・使って・植える」という健全な森づくりのサイクルをしっかりと確保できる、林業・木材産業を展開し、農山村地域の活力を高めていくことが極めて重要であります。

当組合といたしましても、持続可能

な森林経営計画の作成や人材育成に積極的に取り組み、地域林業の活性化及び組合員の社会的・経済的地位の向上・確立のため、地域社会条件に適合した、組合運営を展開してまいります。

さて、本日の総代会の提出議案は11議案ですが、特に1号と2号議案について触れさせていただきます。

議案第1号は、平成27年度の決算でございますが、予想以上の事業量の確保や経費節減によりまして、黒字決算となりました。これも、偏に関係各位のご指導や、組合員のご支援・ご協力の賜物でありますし、特に、職員や作業員の頑張りのお蔭であります。改めまして、皆様方に、感謝とお礼を申し上げます。

議案第2号の平成28年度事業計画設定でございますが、年々事業量が減っていく中で、平成27年度に比べて大幅な事業費の減額が見込まれることから、新たな事業を獲得すると共に、経費の節約に努めてまいり、組合員への出資配当金及び組合員の福祉の向上並びに森林の保続培養に役・職員一丸となり、鋭意努力する所存でございますので、さらなるご支援・ご協力を切にお願い申し上げます。本日は、皆様方の忌憚のないご意見を頂き、すべての提出議案に対しまして、ご賛同を頂きますようお願いを申し上げます。

最後に、ここにご参集の皆様方の限りなきご活躍と、さらなるご健勝・ご多幸をご祈念申し上げます。挨拶いたします。本日は、どうぞよろしくお願いたします。

平成27年度 貸借対照表

平成28年5月31日 (単位:円)

科 目	小 計	合 計	科 目	小 計	合 計
〈資産の部〉			〈負債の部〉		
流動資産			流動負債		
1 現 金		97,090	1 買 掛 金		6,400,312
2 預 金		830,746,856	2 短 期 借 入 金		-
3 受 取 手 形	-		3 未 払 金		98,458,910
貸 倒 引 当 金	-		4 未 払 法 人 税 等		51,165,900
4 売 掛 金	487,010		5 賞 与 引 当 金		22,067,575
貸 倒 引 当 金	△ 3,271	483,739	6 前 受 金		-
5 棚 卸 資 産		4,404,676	7 預 り 金		10,200,496
6 前 払 費 用		402,312	8 受 託 販 売 預 り 金		17,177,021
7 未 収 金	6,067,823		9 受 託 林 産 預 り 金		126,863
貸 倒 引 当 金	△ 96,029	5,971,794	10 雑 負 債		5,271,582
8 立 替 金	31,470,083		流 動 負 債 合 計		210,868,659
貸 倒 引 当 金	△ 187,547	31,282,536			
9 一 般 仮 払 金		0			
10 積 立 保 険 資		9,378,668	固 定 負 債		
11 雑 資 産	6,277,506		1 長 期 借 入 金		-
貸 倒 引 当 金	△ 11	6,277,495	2 退 職 給 付 引 当 金		1,25,296,635
流 動 資 産 合 計		889,045,166	3 役 員 退 任 慰 労 金 引 当 金		8,023,875
			4 農 林 漁 業 資 金 借 入 金		-
			固 定 負 債 合 計		133,320,510
固 定 資 産			負 債 合 計		344,189,169
有 形 固 定 資 産			〈純資産の部〉		
1 建 物	122,136,467		組 合 員 資 本		
減 価 償 却 累 計 額	△ 66,889,652	55,246,815	1 出 資 金		224,224,000
2 構 築 物	2,445,150		2 利 益 剰 余 金		
減 価 償 却 累 計 額	△ 2,280,845	164,305	法 定 準 備 金		137,406,606
3 機 械 装 置	62,752,001		そ の 他 利 益 剰 余 金		
減 価 償 却 累 計 額	△ 50,984,592	11,767,409	任 意 積 立 金		400,497,035
4 車 両 運 搬 具	53,326,179		当 期 未 処 分 剰 余 金		
減 価 償 却 累 計 額	△ 51,884,091	1,442,088	当 期 剰 余 金	12,253,531	
5 工 器 具 備 品	12,934,993		前 期 繰 越 剰 余 金	14,079,160	26,332,691
減 価 償 却 累 計 額	△ 12,065,465	869,528	3 資 本 準 備 金		1,943,735
6 特 用 樹 林	1,921,651		組 合 員 資 本 合 計		790,404,067
減 価 償 却 累 計 額	△ 1,905,635	16,016			
7 土 地		76,096,809	純 資 産 合 計		790,404,067
8 森 林		5,328,219			
有 形 固 定 資 産 合 計		150,931,189			
無 形 固 定 資 産					
1. ソ フ ト ウ ェ ア		2,743,881			
無 形 固 定 資 産 合 計		2,743,881			
外 部 出 資					
1. 系 統 出 資 金		89,722,000			
2. 系 統 外 出 資 金		2,151,000			
外 部 出 資 合 計		91,873,000			
そ の 他 固 定 資 産					
1. 長 期 貸 付 金	-				
貸 倒 引 当 金	-				
2. 農 林 漁 業 資 金 貸 付 金	-				
貸 倒 引 当 金	-				
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計					
固 定 資 産 合 計		245,548,070			
資 産 合 計		1,134,593,236	負 債 ・ 純 資 産 合 計		1,134,593,236

組合員及び出資金

平成28年5月31日現在

区 分	組 合 員 数			出 資 金		
	正 組 合 員 人	准 組 合 員 人	計 人	出 資 口 数 口	出 資 金 総 額 円	払 込 済 出 資 金 額 円
前 年 度 末 現 在	10,331	328	10,659	222,418	222,418,000	222,418,000
本 年 度 中 増 加	5	-	5	2,810	2,810,000	2,810,000
本 年 度 中 減 少	31	-	31	1,004	1,004,000	1,004,000
本 年 度 末 現 在	10,305	328	10,633	224,224	224,224,000	224,224,000

平成27年度 損益計算書

平成27年6月1日から平成28年5月31日まで (単位:円)

科 目	小 計	合 計	事 業 区 分					信託事業
			一 般 事 業					
			計	指 導	販 売	加 工	森 林 整 備	
I 事業総損益								
1. 事業総収益	809,918,683		809,918,683	53,000	21,418,625	-	788,447,058	-
2. 事業総費用	558,083,415		558,083,415	4,843,238	9,345,600	-	543,894,577	-
事業総利益		251,835,268	251,835,268	△ 4,790,238	12,073,025	-	244,552,481	-
II 事業損益								
1. 人件費	176,295,472		176,295,472	881,477	7,933,296	-	167,480,699	-
2. 旅費・交通費	2,607,615		2,607,615	13,083	117,343	-	2,477,234	-
3. 事務費	6,202,719		6,202,719	31,014	279,122	-	5,892,583	-
4. 業務費	4,459,487		4,459,487	22,297	200,677	-	4,236,513	-
5. 諸税負担金	36,128,471		36,128,471	180,642	1,625,781	-	34,322,048	-
6. 施設費	19,108,002		19,108,002	95,540	859,860	-	18,152,602	-
7. 雑費	1,174,599		1,174,599	5,873	52,857	-	1,115,869	-
事業管理費計		245,976,365	245,976,365	1,229,881	11,068,936	-	233,677,548	-
事業利益		5,858,903	5,858,903	△ 6,020,119	1,004,089	-	10,874,933	-
III 経常損益								
1. 事業外収益	10,287,370		10,287,370	平成27年度 剰余金処分 (単位:円) 摘 要 積算内訳 内訳 小 計 合 計 I 当期未処分剰余金 26,332,691 II 剰余金処分数額 1 法定準備金 当期剰余金の5分の1以上 4,000,000 2 任意積立金 6,000,000 3 出資配当金 払込済出資金の100分の1 2,236,989 12,236,989 III 次期繰越剰余金 14,095,702				
2. 事業外費用	1,301,600		1,301,600					
事業外損益		8,985,770	8,985,770					
経常利益		14,844,673	14,844,673					
IV 特別損益								
1. 特別利益	4,095,000		4,095,000					
2. 特別損失	4,352,142		4,352,142					
特別損益		△ 257,142	△ 257,142					
税引前当期利益		14,587,531	14,587,531					
法人税、住民税及び事業税 法人税等調整額		2,334,000	-					
当期剰余金		12,253,531						
前期繰越剰余金		14,079,160						
当期未処分剰余金		26,332,691						

平成27年度 剰余金処分 (単位:円)

摘 要	積算内訳	内訳	小 計	合 計
I 当期未処分剰余金				26,332,691
II 剰余金処分数額				
1 法定準備金	当期剰余金の5分の1以上		4,000,000	
2 任意積立金			6,000,000	
3 出資配当金	払込済出資金の100分の1		2,236,989	12,236,989
III 次期繰越剰余金				14,095,702

脚注 1 出資配当金の配当率は、1%である。
2 次期繰越剰余金中、教育情報資金は1,500,000円である。

常務就任あいさつ



常務 河内武二

組合員の皆様方にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より組合運営にご協力いただき誠にありがとうございます。この度の役員改選において常務理事に推挙され 8月26日就任をいたしました。今まで職員として務めさせていただいた経験を活かし、微力ではありますが組合長を補佐し組合経営の安定、向上に努めて参る所存でございますのでよろしくお願い申し上げます。

当森林組合を取り巻く状況は、戦後植栽されたスギ、ヒノキが成熟期、伐期を迎えつつありますが、木材価格の低迷固定化・シカ被害等により、次世代に繋いで行こうとする森林所有者の意欲が減退し、最近では幹線道路沿いに人工林皆伐跡地の放置も散見され、「切ったら植える」というサイクルの維持が困難になっております。

このような環境の中で森林組合は、森林環境保全と林業再生産活動を通じて安全な環境と循環資源である木材を安定的に供給していくことが強く期待されております。また森林所有者の協同組織である森林組合にとって、組合員の皆様方の組合利用及び事業参加は欠くことのできない組合運営の根本でもあります。

これらのことを念頭に置き、組合発展のため尽力いたしますのでご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

参事就任あいさつ



参事 河田恒雄

組合員の皆様には平素より組合運営にご協力いただき誠にありがとうございます。この場をおかりししてお礼申し上げます。

さて、この度の理事会におきまして河内参事の後任として選任いただき、参事という重責に身の引き締まる思いでございます。

森林組合に入組して早いもので35年目を迎えました。振り返って見ますと森林・林業を取り巻く環境は常に厳しい厳しいといわれ続けてきました。しかしながら、入組以来今まで赤字決算は一度も経験がなく、これはひとえに組合員の皆様方の甚大なるご協力と、関係機関のご支援、役員、職員、作業員をはじめ諸先輩方のおかげであると感謝申し上げますと共に、今後も黒字経営が維持できるよう鋭意努力していく所存です。森林・林業に対する国の政策も時と共に大きく様変わりして参りましたが、「伐って・使って・植える」という林業が本来有する目的を見失うことなく、持続可能な森林経営が維持できるよう幾多の苦難を乗り越えていかなければなりません。組合発展のため、組合長・常務の補佐役として微力ではございますが尽力いたしますので、ご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

森林作業道作設オペレーター 育成事業の取り組み

中級



講師(中央) 受講者一同

本格的な利用期を迎えている森林資源の循環的な利用を図り、森林の公益的機能の高度発揮と持続的な林業経営を進めていくためには、地域の状況に合った林業機械や作業システムを効率的に運用できる森林作業道の作設が必要であり、そのため簡易で丈夫な森林作業道作設技術を有するオペレーターの育成強化を図る必要があります。

そのため林野庁では平成22年11月に森林作業道作設指針を制定すると共に、森林作業道作設オペレーターを育成する事業を実施し、当組合でも平成24年に初級研修を受講し7名のオペレーターを育成しました。

しかし、森林作業道の作設に係る新たな課題として、これまでよりも奥地の林分や皆伐施行地に至る急傾斜地やぜい弱地の箇所地を通過するための、適切な路線選定や土工、構造物の設置等が求められています。

このため、初期研修終了者の更なる技術向上を目的として、急傾斜地やぜい弱地等での森林作業道作設に関する中級研修に応募し職員・作業員6名が受講しました。



講議のようす



基本土工のポイント

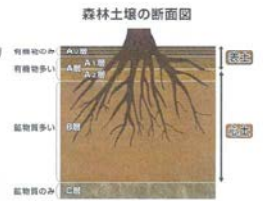
テキスト「森林作業づくり」のp58~もあわせて参照してください

1. 有機物を含む表土を取り除く

- 末木枝葉とともに、草本類の根の連している深さまでの表土(左図のAO層とA1層)を取り除く

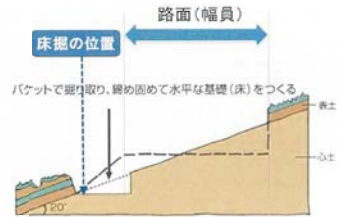
(注) 盛土に末木枝葉や表土が混入すると、締固めが十分にできない

(テキスト p58「緩傾斜地における土工」参照)



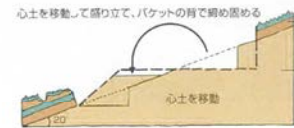
2. 盛土基礎部の作設 (テキスト p59 参照)

- 安定した盛土勾配(1割~1割2分程度)となるような、盛土基礎部の位置を決める
 - 盛土基礎部を掘り取り、バケットの背で締固めて水平な基礎を作る
- (注) 盛土基礎部が水平でないと、盛土が滑る



3. 盛り立てた心土の締固め

- 山側から掘り取った心土を、水平な基礎の上に盛り立て、バケットの背で締固める
- 盛り立てと締固めは、30cm程度の層ごとに行う



1 / 2



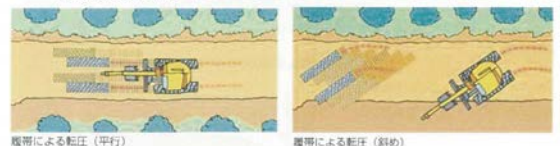
基本土工のポイント

(注) 土質が軟弱で、不等沈下が生じるところでは、山側の地山も掘り起こして締め固める



4. 路体の転圧 (テキスト p61 参照)

- バックホウを道に沿って、または、道に対して斜めに前後進させ、転圧する
 - 履帯で転圧できないところ(路体中心部など)は、バケットの背で叩いて締め固める
- (注) 転圧は、土質、水分状況を見てどの程度行うのが適切かを判断する



役員紹介

第8代役員決まる

8月26日の総代会において役員改選があり、第8代役員が選任されましたので紹介します。



代表監事
小西卓夫（三隅）



筆頭理事
田上順久（油谷）



常務理事
河内武二（下関）



代表理事組合長
義満謙二（下関）



理事
竹林英雄（三隅）



理事
宮野修治（長門）



理事
楠田美文（豊浦）



理事
福田正志（豊田）



理事
谷和久（菊川）



理事
飯室茂樹（豊田）



理事
松永信昭（日置）



理事
田中一夫（長門）



監事
中本俊文（菊川）



監事
植田文弘（下関）



理事
森脇丈信（豊北）



理事
釣井恭平（豊北）

平成 28 年度 安全衛生大会開催

労働災害の防止を目的に当組合主催の安全衛生大会を、10月4日開催いたしました。山林作業をする上で気をつけなければいけない危険因子にハチ刺されによるアナフィラキシーショックがあります。これは蜂毒にアレルギー反応を示す人がハチに刺されると全身にじんましん、嘔吐、呼吸困難などの症状が起こり急激な血圧低下や発熱により命をおとすことがあります。そこで今回は、ハチの習性やハチと遭遇した場合の対処方法、また、運悪く刺された場合に応急処置として使用する自己注射器の「エピペン」の使用方法について映像を見ながら研修を行いました。

今年度の労働安全標語の最優秀作品「組合長賞」は下関支所所属の作業員 稲垣康治さんが平成 24 年度に続き 2 回目の受賞をされました。最後に出席者全員での指差し唱和、班長代表者による大会宣言を行い“ゼロ災害を目指した職場づくり”を出席者一同で誓い合いました。



平成28年度「安全標語」入選作品

【組合長賞】

ゼロ災は ルール遵守の積み重ね
守る勇気と続ける努力

下関支所 稲垣 康治

【優秀賞】

安全は 基本動作の くりかえし

下関支所 春永 喜次

安全は ルール遵守と 基本の確認

長門職員 藤井 秀行

【佳作】

安全優先 指差し呼称で ゼロ災害

下関支所 高橋 亮

忘れるな！ 小さなヒヤリ 危険予知

本所職員 児玉 良子

リスクの芽 聞いて伝えて再確認

組織でつくるゼロ災害

本所職員 藤岡 和昭

「コンプライアンス研修会の開催」

当組合では役職員を対象に農林中央金庫中国農林水産環境事業部次長 谷口敏之氏を講師にお招きし、コンプライアンス研修会を開催いたしました。

今回は役員改選に伴いこの研修会を初めて受講される役員の方もありましたので、基本的な内容及び不祥事の事例を中心にご講演をいただきました。

今後も組合員及び社会から信頼される組合となりますよう、役職員一丸となりコンプライアンスに取り組んでいきます。



林業作業員の募集

当組合では事業拡大のため林業作業員を募集いたします。

仕事の内容

林業に関連した作業全般

賃金月額

172,500円～230,000円

賃金形態

日給7,500円～10,000円 月23日

雇用形態

2ヵ月有期雇用



その後4ヵ月有期雇用



その後選考により正規雇用予定



試用期間有

就業時間

8時～16時40分(休憩時間120分)

加入保険等

雇用・労災・健康・厚生・退職金制度有

問い合わせ先

旧下関市・旧菊川町・旧豊浦町にお住まいの方

山口県西部森林組合下関支所

電話 083-258-4400

旧豊田町・旧豊北町にお住まいの方

山口県西部森林組合中央支所

電話 083-783-0013

旧長門市・旧三隅町・旧日置町・旧油谷町にお住まいの方

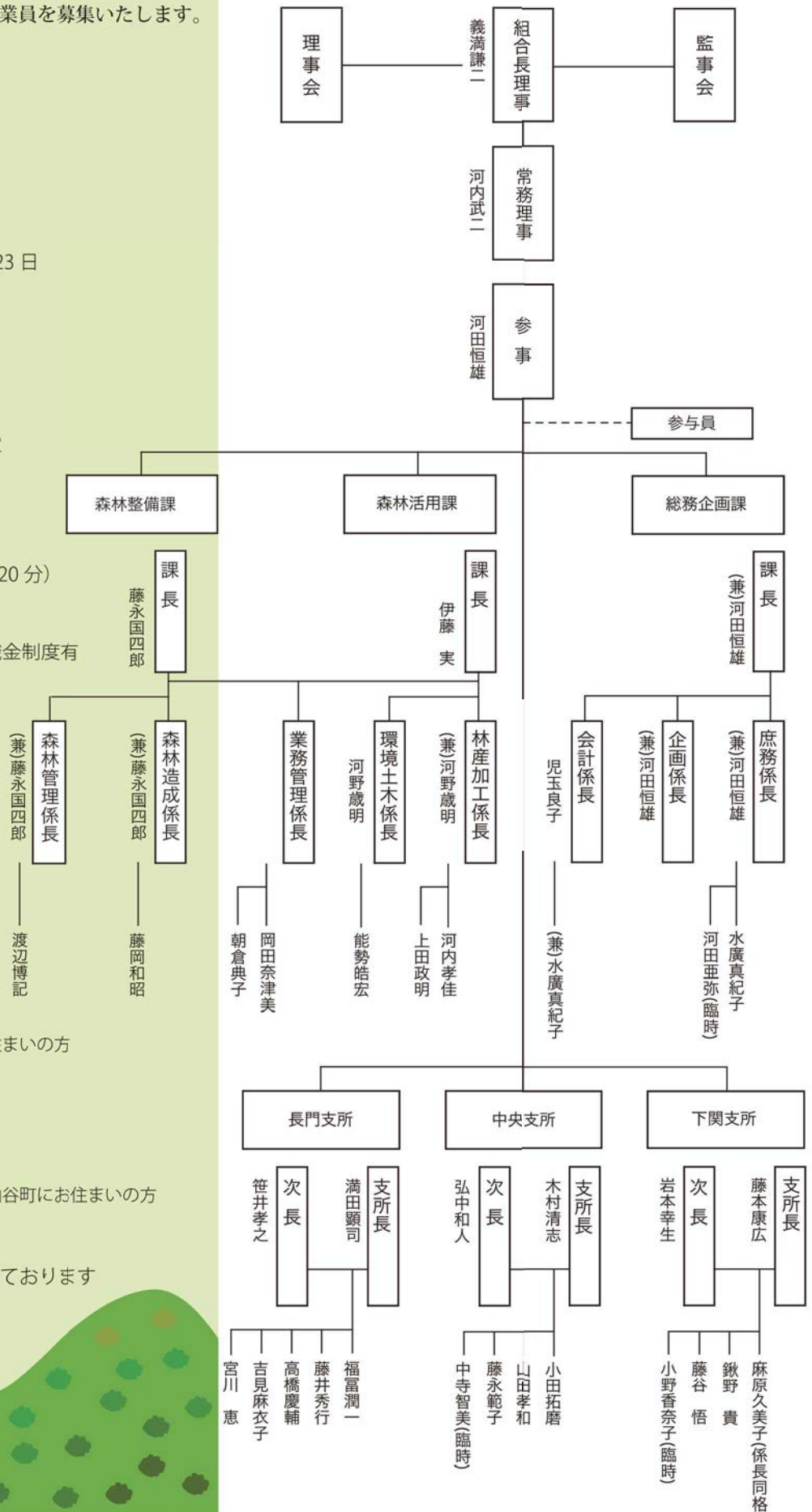
山口県西部森林組合長門支所

電話 0837-22-2001

※ハローワークにも求人票を出しております

山口県西部森林組合 組織図

H28年9月1日現在



組合員の名義変更をお願いします

— 組合員資格に係る届出のお願い —

- 死亡による相続 ● 譲渡
- 共有林の代表者の変更
- 記載事項(住所変更等)

上記事項が生じた場合、組合員資格に係る届出が必要になりますので、該当される方は早急に所定の手続きをお願いします。

様式は組合ホームページ

(アドレス "http://www.ywf.or.jp/") に組合員専用ページを設置し、組合員資格手続を行う際に使用する様式を提供していますのでご利用下さい。

組合員死亡による相続をされる場合は、組合員の死亡及び相続を確認する書類(例: 戸籍謄本、公的に相続した書類等)が必要となります。

なお、手続(届出)に関して不明な点や詳細につきましては本所、支所までお問い合わせ下さい。

本 所	083-766-0180
下 関 支 所	083-258-4400
中 央 支 所	083-783-0013
長 門 支 所	0837-22-2001

木 った木切ります

～大木にお悩みの方に朗報～

今年の台風1号の発生は7月3日で、統計開始以降2番目に遅い発生となりましたが、7月下旬以降発生ペースが上がり、その内台風10号は観測史上初めて東北地方の太平洋側に上陸し、北日本や北海道に甚大な豪雨災害をもたらしました。

日本列島を多くの台風が来襲し、各地で暴風・竜巻・ゲリラ豪雨が発生し、各地で甚大な被害が発生しています。こうした中、家の周囲に大木があると思われぬ被害を受けることがあります。こうした困った木の伐採に悩まれている方がありましたら、お気軽に当組合にご相談下さい。無料でお見積もり致します。

編 集 後 記

2020年開催の東京オリンピックのメイン会場となる新国立競技場の設計がザハ・ハディッド氏案から白紙撤回され、隈 研吾氏による設計へ変更されました。当初の設計は近未来的な曲線を多用したもので、見るものを圧倒させましたが、新たな設計は日本の伝統的な木構造と鉄骨の長所を生かしたハイブリット構造による大屋根を構築した、調和と日本らしさに配慮した設計となりました。

未来志向から伝統回帰を図ったデザインに対しては賛否色々など意見はあろうと思いますが、木材のもつ柔らかさ、優しさが日本人のおもてなしの心と融合し醸し出された「和」が、世界中の人々を魅了するものと期待いたします。(T.K)

安全パトロールの実施



災害のない安全な職場作りのために、作業中の現場を訪れ作業状況を視察し、安全作業の徹底を図るため安全パトロールを実施しました。

今年の夏も連日猛暑が続き、労働基準監督署からも熱中症は防ぐことのできる災害なので、防止対策を充分徹底し絶対に死亡者を出さないようにと指導を受けました。これからも安全の徹底に一丸となり取り組む所存です。

安全衛生目標:

H28年度

転倒に起因する災害の撲滅

安全衛生スローガン:

「ゼロ災は ルール遵守の積み重ね
守る勇気と続ける努力」

H28年度安全衛生大会標語最優秀作品 稲垣康治(下関支所作業員)

～林産の若手班長として活躍中～
— 木村佳嗣さん —

紹 表
介 紙



作業班のメンバー(木村班) 前列左より 木村佳嗣 永見優子 上領伸二(敬称略)

伐採作業中の木村さん(29)は中央支所木村班の班長として活躍している。

森林組合に入る前は介護の仕事をしていましたが、オフロードバイクをきっかけに山に興味を持ち、たまたまハローワークで森林組合作業員の求人を目にしてこの道に入ったとのこと。夏の暑さは全然苦にならないが冬の重機での作業は手や足の先が冷たくなり苦手と話す。重機のパワーを使い木材を思いどおりに動かせた時と、チェーンソーの排気音に喜びを感じる。怪我をしないように集中力が切れたときは少し休むようにして、とにかく自分の生活ができる事が一番重要と話す。

女性を含めた若い3人体制の林産の班長として今後益々の活躍を期待します。

雑草にお困りですか？

ササ、カヤ、クズ、その他多くの雑草に
効果の高い除草薬をご用意します!!

鳥獣にお悩みですか？

林地、農地などで多発している鳥獣
被害に適切な資材をご用意します!!

ご相談受け付けております。
詳しくは森林組合へお問合せください。



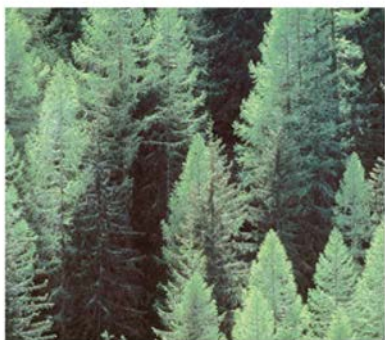
正和商事株式会社

北九州市小倉北区京町 3-14-11 本館 303
TEL: 093-511-0115 FAX: 093-511-0116

安全・人と自然・調和

【野生草食獣食害防止】

くわんたい・防獣ネット



【樹皮食い・角研ぎ防止】

バークガード

【除草剤】

ザイトロン・ザイトロンフレノック微粒剤
フレノック粒剤・ケイピンエース

【殺虫剤】

ハチ・アブエアゾール

【樹幹注入剤】

マッケージ・他各種



【野生獣類忌避剤】

ユニファー水和剤

ランテクターヒルよらん

DDS

大同商事株式会社

〒841-0051 佐賀県鳥栖市元町1246-3
Tel0942-87-9700 Fax0942-87-9704

JForest

2016年11月vol.41

■発行/山口県西部森林組合 〒750-0441 山口県下関市豊田町大字中村853番13
TEL083-766-0180 FAX083-766-0332
URL: <http://www.ywf.or.jp/>
E-mail: ywf-s@ywf.or.jp

再生紙を使用しています



この印刷物は、自然環境に優しい大豆油インキを使用しております。

